

ともだち 歌おうよ！

豊中少年少女合唱団

第7回定期演奏会

♪きもちのふかみに おりていこうよ♪



2009年4月18日(土) 14時開演
アクア文化ホール

後援 豊中市 豊中市教育委員会 豊中市合唱協会
関西合唱連盟 大阪府合唱連盟 日本合唱指揮者協会



(第6回定期演奏会 2008年4月20日 作曲・ピアノ；寺嶋陸也 こおろぎは歌う)

ごあいさつ

本日はお忙しい中、豊中少年少女合唱団（豊少）の第7回定期演奏会にお越しくださり、誠にありがとうございます。

豊少は、大人の合唱団である豊中混声合唱団（豊混）の支援の下、2001年に産声をあげました。

以来、次の3つを基本において活動を続けております。

- ① 私たちの心を豊かにしてくれる“本物”の歌を歌います
- ② 豊中混声、ママス&パパス（保護者有志）など、大人とも一緒に歌います
- ③ 高い技術力がなくても歌える、深く豊かな音楽性に満ちた曲を委嘱していきます

昨年の定期演奏会では、寺嶋陸也さんに「沖縄のスケッチ」の児童合唱＋混声合唱バージョンを豊混と共同委嘱し、三線や太鼓や琉球舞踊を交えた総合舞台作品として初演しました。これは私たちの活動の一つの頂点を示すステージでしたが、幸いなことに、大好評を頂くことができました。

さて、今年の定期演奏会は**3つの注目ポイント**があります。

まず、**その1**は、豊少の音楽の一つの柱となっている萩京子さんの作品を、作曲家ご自身のピアノで演奏します。ソングは折りにふれ歌ってきました。それに加えて、今回、豊少として初めて混声合唱曲「きもちのふかみに」に挑戦します。もちろん豊少だけでは女声パートしか歌えませんが、男声パートは豊混の男声有志に賛助出演していただきました（豊少の変声した男子も、この曲では男声パートです）。練習の時に萩さんは「別の曲のように新鮮に聞こえる」と仰っていましたが、大人の混声合唱団とはまた違った魅力を引き出せるのではないかと思います。

なお、これらに加えて、萩京子さんの新作「きこえてくる」を初演する予定でしたが、萩さんのお仕事の関係でどうしても完成が間に合いませんでした。きっと近い将来、ご披露させていただきますので、ご了承くださいませ。

その2は、去年の「沖縄」に引き続き、舞台作品（シアターピース）「ふしぎの国から」をお聴きいただきます。豊少はこれまで柴田南雄先生のシアターピース「北越戯譜」や「銀河街道」に取り組みしてきました。今回は、現代音楽の鬼才、高橋悠治先生の野心作に初挑戦です。「いじめ」がテーマのこの曲は、子ども達にとっても人ごとではなく、やや難しい音楽でしたが、一生懸命、取り組んできました。

この曲の上演にあたり、委嘱初演された東京の「ゆりがおか児童合唱団」と指導者の山田榮子先生、そして作曲家の高橋悠治先生から大きなご支援をいただきました。この場を借りまして御礼申し上げます。なお、来る7月に開催される宝塚国際室内合唱コンクールのシアターピース部門にこの曲で応募したところ、先日、一次審査を通過し、本選への出場が決定しています。

そして、**その3**ですが、豊少は、去年の11月にJPI社製作の「ジュニア版 パート別合唱名曲選」で初めて本格的なレコーディングを経験しました。日本の錚々たる児童合唱団に交じって、6曲が豊少の歌声で収録されたことは、合唱団創立以来の快挙の一つです。本日はその時の曲を中心に「名曲選」をお聴きいただきます。

それでは、今日は一年間の集大成です。どうぞ最後までごゆっくりお聴きくださいませ。

また引き続き、今後ともご支援の程、心よりお願い申し上げます。

豊中少年少女合唱団 指揮者 西岡茂樹

プログラム

指揮 西岡茂樹

豊中少年少女合唱団・団歌

詩・曲 三善 晃

I 児童合唱名曲選 ～レコーディング記念～

ピアノ 西岡恵子

- ・この星に生まれて
- ・いつも何度でも
- ・COSMOS
- ・晴れたらいいね
- ・心の中にきらめいて
- ・旅立ちの日に

詩	坂本竜一	曲	坂本竜一
詩	覚和歌子	曲	木村弓
詩	ミマス	曲	ミマス
詩	吉田美和	曲	吉田美和
詩	田崎はるか	曲	橋本祥路
詩	小嶋登	曲	坂本浩美

II ふしぎの国から ～藤井貞和の詩による児童合唱のための構成～

- ・あいさつ
- ・ピラウド
- ・ぼくのばあい
- ・すくなびこな
- ・ふしぎの国で
- ・すくなびこな、二

詩	藤井貞和
曲	高橋悠治
ピアノ	西岡恵子

—— インターミッション ——

III 木とともに人とともに

- ・生きる
- ・木とともに人とともに

詩	谷川俊太郎
曲	三善晃
ピアノ	武知朋子
賛助出演	豊中混声合唱団 ママス&パパス（保護者有志）

IV 萩京子ソング集

曲・ピアノ 萩京子

- ・はじめのことば
- ・みずはうたいます
- ・私たちの星
- ・ひみつ

詩	さねとうあきら
詩	まど・みちお
詩	谷川俊太郎
詩	谷川俊太郎

V きもちのふかみに 混声合唱とピアノのための

- ・あい
- ・みんなやわらかい
- ・しぬまえにおじいさんのいったこと
- ・さようなら
- ・きもちのふかみに

詩	谷川俊太郎
曲・ピアノ	萩京子
賛助出演	豊中混声合唱団男声有志

I 児童合唱名曲選 ～レコーディング記念～

西岡茂樹

「この星に生まれて」…NHKの「生きもの地球紀行」のエンディングテーマ曲。この奇跡の星、地球に共に生まれたからには、共に幸せに生きていきたい、夢はきっと叶うはず、と力強く歌われます。

「いつも何度でも」…ジブリの映画「千と千尋の神隠し」のエンディングテーマ曲。原曲では木村弓さんが竖琴ライアーを弾きながら自由自在に歌っておられます。映画の世界と同様、この曲の歌詞も旋律も、不思議で幻想的な世界を創り出しています。

「COSMOS」…文部省国立天文台後援のスターウィーク 1999 年のテーマソングとして、ミマスにより作詩・作曲され、音楽ユニット、Aquamarine（アクアマリン）によって歌われました。「COSMOS」とは「宇宙」のこと。夏の夜空に広がる満天の星を眺めながら、生命の鼓動が宇宙と響き合います。

「晴れたらいいね」…DREAMS COME TRUE の大ヒット曲であり、NHK の朝の連続テレビ小説『ひらり』の主題歌にもなりました。どんどん転調を繰り返していく曲想は、女の子が目まぐるしく成長していく様を表しているかのようです。軽快なビートに乗ったこの曲は豊少の子ども達の大のお気に入りです。

「心の中にきらめいて」…私たちは、いつまでも忘れることのない大切な思い出を心の中に持ち続けています。それらは宝石のように心の中でいつまでもキラキラきらめいています。人が生きていくというのは、心の中に宝物をいっぱい詰め込んでいく過程なのかも知れませんか。

「旅立ちの日に」…埼玉県の中学校の校長先生が作詩、音楽の先生が作曲をされたという卒業式の定番曲。在学中のさまざまな思い出を胸に、勇気をもって新しい世界へと羽ばたいていこう、と力強く歌われます。豊少も小学校から中学へ、中学から高校へと、この3月、多くの団員がこの歌を卒業式で歌ったようです。

II ふしぎの国から ～藤井貞和の詩による児童合唱のための構成～

高橋悠治

1995 年に出された藤井貞和の2冊の詩集「悲しみをさがす詩」と「明るいニュース」からいくつかの詩を抜き出して「悲しみをさがすうた」を作ったのが 1997 年だった。3本の三味線の弾き歌いと詩人自身の朗読、それに尺八と打楽器を添えて、兵庫県のあるフェスティバルで演奏するために作曲した。神戸の学校で始業時間におくれた女生徒が、先生がちからいっぱいしめた鉄の門に挟み殺された年だった。「ふしぎの国から」はそれを児童合唱とピアノのために再構成したもの。詩の選択もいくらか変わっている。

学校でのいじめが原因で自殺した少年は、死んだこどもたちの学校にいる。運動場をつむじ風になってかけまわったり、冬は霜柱になって、生きているこどもたちに合図を送ってくる。こどもの神すくなびこなも、からだをすりへらしながら、こんな世界をよくしようと、はたらいている。

音楽は明るい。こどもの現実の世界と二重写しになったふしぎの国の消息を伝えることばと音の絵があり、それにピアノの線がからみついている。

III 木とともに人とともに

西岡茂樹

1999 年、三善晃先生は大切な友人を相次いで亡くされました。その年の大晦日の夜、静かにピアノを弾いているうちに出来た曲が「生きる」です。谷川俊太郎さんのこの詩は小学校の国語の教科書にも載っていて、生きるとは何かを深く考えさせられます。

「木とともに人とともに」は、同じ年の「上野の森コーラスパーク」のテーマ曲として作曲されました。大人と子どもの両方の声が合わさって、人と自然との共生、人と人との共生が、力強く歌われます。今日は大人の合唱団として、豊中混声のみならず、ママス&パパス（保護者有志）も参加して下さいます。

IV 萩京子ソング集

西岡茂樹

萩京子さんは CD「HELP! 萩京子ソング集」（ALCD-7014）のライナーノートに、ソングについて次のように書いておられます。

「歌曲と呼ぼうがソングと呼ぼうが歌は歌なのであり、ジャンル分けは無意味だろうが、クルト・ワイルやハンス・アイスラー、また林光の作品、劇中歌を中心としたその多くの歌は、芸術性と大衆性を兼ね備えた新しいスタイルの歌であり、その延長線上に私もまた、ソングというもののイメージをもっている。」

今日、お聞き頂く4曲のソングからも、このことはおわかりいただけたと思います。どの曲も、とても豊かな音楽性に満ちていながら、けっしてオスマシはしていない。歌う人、聞く人の心をあっという間に虜にして、そして離さない、そんな素敵な歌たちです。子ども達が歌うソングは、こんなにやく座の歌い手さん達とは、また違った魅力を感じますが、そんな多様性もソングのソングたる所以かと思えます。

萩 京子

谷川俊太郎さんの詩集「みんなやわらかい」から五つの詩を選んで、混声合唱とピアノのための曲として作曲しました。自分と自分ではない誰かとの関わりを感じることでできるような歌を書きたいと思って、詩を選びました。タイトルは全部ひらがなでしたが、「あい」ではいきなり「あい」と「愛」が交互に示されて、難問をつきつけられたような気持ちになりました。「あい」「愛」「あい」「愛」……。でも、その差異を示すことが問題なのではなく、多様な「あい」をどうイメージできるかということが大切なのだと思います。「くりかえしくりかえし考えること」、「いのちをかけて生きること」、谷川さんの詩は、小さな身近なことから始まって、あっという間に宇宙全体を、歴史すべてを、軽いステップで一跨ぎしてしまうところがすてきです。

「みんなやわらかい」。詩集のタイトルでもあるその詩には、for Issei Miyake・・・と、書かれています。三宅一生氏の作品へのオマージュなのでしょう。詩の構造は、かたち、かたち、かたち、そしていろ、という具合に四つのかたまりになっています。四つめのかたまりのはじめでは、「そうしていろはね…」と、秘密をうちあけられたような気持ちになります。どんなものがたりもちいさなひとつのいろから始まっているのかもしれない、と思えてくる詩です。

「しめまえにおじいさんのいったこと」も、とても好きな詩で、作曲するのとはばかられる思いがありました。ときどきするフレーズがたくさんあります。「かじりかけのりんご」を残しながら「いいのこすことはなにもない」と言いきることの潔さが、きびしくやさしく胸にひびいてきます。それから「くちずさむうた」と「さびかかった かなづち」……。

私は女なので「さびかかった かなづち」の方は持ってないのですが……（笑）。それは、闘志とか、反抗精神と言いかえることもできるけれど、やっぱりおじいさんですから、「さびかかった……」なのだと、作曲者は確信しています。「わたしの いちばんすきなひとに つたえておくれ」ということばにも、ドキッとさせられます。それがだれなのか、だれにもわからないのですから。

「さようなら」は、なんとなく気まずい夕方、どこまでもどこまでも歩いていってしまいたいような夕方の気持ち。こどもとおとなのまんなかにいる気持ち。「さようなら」ということばしかそこには存在できないようなさびしい、しかしなつかしい気持ちがえがかれているように感じました。

「きもちのふかみに」には、a song という副題がついています。自分の心の奥に眠っているひとつの歌に出会うためには、きもちのふかみにおりていかなければならない、ということ。ほんの日常のさりげないエピソードからごく自然に誘い、いままで気づかずにいたところの深い場所を指し示す詩だと思います。はじめのふたつのかたまりは、早く語るようにかけぬけ、後半の三つのかたまりで、ゆっくり静かに、こころの奥の、今まで行ったことのないところまで、おりていってみる……。「うたがはじまるまえのしずけさ」というむすびの一行が、とても印象的です。この一行が「きもちのふかみ」とも言うべき場所で響くことを願っています。

▲賛助出演 豊中混声合唱団男声有志△

●テノール○

天野雄介 練習から幸せな時間を過ごせました。素敵なおステージに参加させていただきありがとうございます！

西川和紀 第7回定期演奏会ご盛会おめでとうございます。豊少の皆と唄えること凄く楽しみです。本番は頑張りましょう。

森 隆哉 ふわっと柔らかく落ち着いた気持ちになれるこの歌を、子供たちと見つめ合い、語り合うように歌いたいです。

山内弘志 豊少のみんなと一緒に歌うと合唱を始めた頃のことを思い出します。それは私にとって大切な宝物です。

山際康弘 今日は片道3時間かけて豊中にやってきました。トヨコン北九州支部代表としてがんばります！

■バス□

塩崎計吉 みなさんと歌えることを楽しく思っています。いつも元気をもらってますよ。ありがとう！

板垣裕一 おとなもこどももきっとおんなじー このフレーズに込められた思いを感じとってもらえたらと思います。

大木克章 頼りない大人でいつもご迷惑をおかけしています（汗。今日は子供たちに負けられないように若い気持ちでがんばります。

田中時光 「きもちのふかみに」をまさか少年少女合唱団と歌えるとは…今日はとっても楽しみです。

吉原一郎 私にとって「きもちのふかみに」はたいへん好きな曲の1つです。みんなで精一杯、楽しんで歌いましょう！

◆この一年間の活動記録

年月日	場所	タイトル	主な演奏曲目
2008 年 4/20 (日)	アクア文化ホール	豊少第 6 回 定期演奏会	寺嶋陸也「沖縄のスケッチ」委嘱初演 寺嶋陸也「こおろぎは歌う」委嘱再演 寺嶋陸也編曲「ジブリの歌」 Bob Chilcott「Peace Mass」
6/29 (日)	池田アゼリア ホール	大阪府合唱祭	寺嶋陸也「沖縄のスケッチ」より 三善晃「木とともに人とともに」 尾上和彦「さとうきび畑」 坂本竜一「この星に生まれて」
7/9(水)	アクア文化ホール	豊中市民の集い	「豊中市歌」「団歌」「心の中にきらめいて」 「さとうきび畑」「この星に生まれて」
7/12 (土)	アクア文化ホール	豊中市合唱のタベ	寺嶋陸也「沖縄のスケッチ」より
7/13 (日)	ザ・ソフォニーホール	豊混第 47 回定演	寺嶋陸也「沖縄のスケッチ」
8/2 (土)	難波別院	八月の祈り	尾上和彦「鳥の歌」
8/26(火) ～27(水)	豊中市立 少年自然の家	夏合宿	
9/27 (日)	いずみホール	柴田南雄没後 12 年 メモリアルコンサート	柴田南雄「銀河街道」
10/11 (土)	中央公民館	公民館祭り	「心の中にきらめいて」「この星に生まれて」他 「崖の上のポニョ」(豊中混声と共演)
11/8 (土)	池田アゼリア ホール	JPI レコーディング	「心の中にきらめいて」「この星に生まれて」 「いつも何度でも」「晴れたらいいね」 「COSMOS」「あきのひ」
12/7 (日)	アクア文化ホール	豊中市合唱祭	「COSMOS」「晴れたらいいね」
12/10 (水)	千里阪急ビル アイヴィーホール	YMCA クリスマス コンサート	「もろびとこぞりて」「あら野のはてに」 「牧人ひつじを」「赤鼻のトナカイ」 「ジングルベル」「きよしこの夜」他
12/23 (火)	長興寺会館	豊少クリスマス会	
2009 年 2/8 (日)	大阪府 青少年会館	ミュージックプラザ	「ふしぎの国から」より 「旅立ちの日に」「さようなら」
3/26 (水) ～27 (木)	豊中市立 少年自然の家	春合宿	
4/2 (月)	豊中 CATV	エキスタ生出演	「はじめのことば」「晴れたらいいね」「旅立ちの日に」

◆今後の活動予定

年月日	場所	タイトル	主な演奏曲目
4/25 (土)	中央公民館	見学会	ジブリ 旅立ちの日に など
5/24 (日)	大阪音大レッツ ホール	豊中南0-トリ-クラブ 創立 40 周年事業	未定
6/28 (日)	池田アゼリア ホール	大阪府合唱祭	三善晃「木とともに人とともに」 寺嶋陸也「私たちの星」
7/5 (土)	ザ・ソフォニーホール	豊混第 49 回定演	★★萩京子「きこえてくる」委嘱初演予定★★ 三善晃「木とともに人とともに」
7/8 (水)	アクア文化ホール	豊中市民のつどい	未定
7/11 (土)	アクア文化ホール	豊中市合唱のタベ	未定
7/25 (土)	宝塚ベガホール	宝塚国際室内合唱 コンクール	ソプラノ-ス部門本選 高橋悠治「ふしぎの国から」より
8/1 (土)	東梅田教会	八月の祈り	尾上和彦「鳥の歌」
8 月中旬		夏合宿	
10 月中旬	中央公民館	公民館祭り	未定
12/6 (日)	アクア文化ホール	豊中市合唱祭	未定

プロフィール

萩京子（はぎ きょうこ）・・・作曲、ピアノ



1956 年東京生まれ。1978 年東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。オペラシアターこんにゃく座代表・音楽監督。おもなオペラ作品は、『北守将軍と三人兄弟の医者』『金色夜叉』『ガリバー』『口はロボットの口』『にぎりえ』『好色一代男』『ピノッキオ』など。オペラ以外の作品では、合唱曲『飛行機よ』『朝のパン』『きもちのふかみに』『ファールさん』『亡命地からの手紙／道しるべ』『地図にない川』『はっぱとりんかく』『祝魂歌』ほか。宮澤賢治原作の『よだかの星』『どんぐりと山猫』『注文の多い料理店』他がある。古今東西の詩によるソングも多数。その他、劇音楽も多く手がける。CD『HELP!』『萩京子作品集・よだかの星』『口はロボットの口』『走れメロス』がコジマ録音より、『北守将軍と三人兄弟の医者』が fontec よりリリースされている。吉川和夫、寺嶋陸也とともに「緋国民楽派」同人。

西岡茂樹（にしおか しげき）・・・指揮



1955 年兵庫県生まれ。高校時代から合唱と指揮を始め、その後、大阪大学混声合唱団で3 年間に亘り学生指揮を務める。卒業後は豊中混声合唱団に入団し、作曲家の三善晃氏、高田三郎氏、柴田南雄氏、さらに合唱指揮者の田中信昭氏、須賀敬一氏との出会いと師事により合唱観と活動軸を形成してきた。指揮活動の最大の関心は、『世界に誇ることができる日本固有の合唱芸術の創造』にあり、主として現代日本の創作家の意欲的な作品をとりあげ続けている。これまでに三善晃「伝説」・「詩の歌（女声篇）」をはじめ、池辺晋一郎「海の墓標」、一柳慧「未来へ」、鈴木英明「銀の矢ふれふれ」、高田三郎「青森の子守歌・山形の子守歌」、寺嶋陸也「こおろぎは歌う」・「見えない糸」、

新実徳英「宇宙になる」、萩京子「地図にない川」・「ファールさん」・「亡命地からの手紙／道しるべ」・「はっぱとりんかく」、山岸徹「大阪の子守歌」、矢田部宏「生命」等を委嘱初演している。

また近年、『大人と子供が共に歌い合う合唱』にも注力しており、三善晃「葉っぱのフレディ」、萩京子「一本の木の下で」、松下耕「おわりのない海」、寺嶋陸也「沖縄のスケッチ」を委嘱初演している。

現在、他に、豊中混声合唱団、女声合唱団あい、女声合唱アルモニレジュイ、関西大学グリークラブ等で指揮を務める他、客演依頼も多く、幼稚園から熟年までの幅広い年齢層をカバーしている。

関西合唱連盟理事、大阪府合唱連盟理事、日本合唱指揮者協会会員、21 世紀の合唱を考える会「音楽樹」会員、奈良産業大学教授。

E-mail shigeki.nishioka@nifty.ne.jp URL <http://www.nara-su.ac.jp/~nishioka/music.htm>

西岡恵子（にしおか けいこ）・・・ピアノ、合唱指導



中学・高校で合唱を経験し、神戸女学院大学で声楽を専攻。卒業後、ヤマハ音楽教室 講師、自宅でピアノ指導などを行うが、合唱が恋しくなり豊中混声合唱団に入団、パートリーダーなどを務める。現在、豊中混声ヴォイストレーナーの児玉祐子氏に師事。

定演も7 回目を迎えました。第1 回の時は、みんな最後まで立ってられるか、誰か倒れないかとそればかりが心配でしたが、今やそんな心配どころか、きっという演奏をしてくれるという信頼感があります。そこには、協力し合いお互いに働きかけの出来る仲間同士の信頼と、この歌を聴く人に伝えたいんだという自分たちの音楽への信頼があります。たくましい子供たち、こんな難しいことはできないだろう、これくらいしか出来ないだろうと大人が決めるのは浅はかなことだと、子供たちから教えられています。

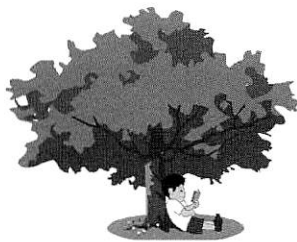
武知朋子（たけち ともこ）・・・ ピアノ



京都市立堀川高校音楽科（現 京都市立音楽高校）、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。ミュンヘンにてM・シュリューター、カールスルーエにてW・ヤーンの室内楽マスターコース修了。その他ミラノ、ウィーンにおいても研鑽。第3回吹田音楽コンクール・ピアノデュオ部門第3位。'95友愛ドイツ歌曲コンクールにおいて最優秀伴奏者賞受賞。'03トスティ歌曲国際コンクールにおいてトスティ・ピアノ賞受賞。第17回京都芸術祭において最優秀協演賞受賞。近年は声藝舎オペラのアンサンブルピアニストとしてヨーロッパ公演に参加。

昨年、一昨年と、大阪府合唱祭「大人と子どもが共に歌う連盟合同」にピアニストとして参加。豊中混声合唱団第48回定期演奏会にて新実徳英作曲「宇宙になる」を、大阪大学混声合唱団第50回定期演奏会にて一柳慧作曲「未来へ」を、いずれも西岡茂樹の指揮によりピアノ伴奏で初演している。

OG スタッフからのメッセージ



◆河中季子（大学2年生、豊中混声合唱団ソプラノ）

豊少発団メンバーの中に私はいました。最初は小さな合唱団でしたが、今はとても存在感がある合唱団へと成長しました。

昨年、高校と共に豊少も卒団し、今はスタッフとしてみんなと楽しく練習に参加しています。

豊少のスタッフとして関わった1年は、私をとても成長させてくれました。今は団員、先生、保護者の皆さんと楽しく協力し、いい音楽をつくれるようにと思っています。

今回の演奏会は言葉、表現を大切にしていると思います。ただ単に上手に歌うだけではなく、「歌」の中への自分の思い、表現が必要になってくると思います。日々の練習の中で積み重ね、私自身も団員と共に成長できました。

豊少は毎回の練習でとても成長しています。それは、団員の合唱に対する一生懸命な思いと周りの先生、保護者の方々の協力があってからだと思います。

そのような団員達、周りのみんなの気持ちを歌として皆さんにお届けします。

◆中井靖子（大学3年生、豊中混声合唱団アルト）

卒団後も、豊少に関わることができてとてもうれしく思っています。

最近の楽しみは、高学年のメンバーが年少のメンバーをさりげなくフォローしつつ、楽しそうにうたっているのを見ることが。頼もしくてうれしくなっています。

プログラムの中でも、特に萩先生の曲は素敵な曲で、思い入れが深いです。

「きもちのふかみに」はここにそっと寄り添うような、あたたかい曲です。

私はまさに今、おとなとこどもの間の架け橋の間にいますが、西岡先生、恵子先生、豊少、トヨコンの皆さんのお蔭で、どこにでも居場所があること、幸せに思っています。

みんなとところを一つに、うたいます。



豊中少年少女合唱団のこれまでの委嘱曲

・2004年「ファールさん」	詩：長田弘	曲：萩京子
・2005年「大阪のわらべ歌」		曲：山岸徹
・2006年「一本の木の下で」	詩：朝比奈尚行	曲：萩京子（個展実行委員会共同委嘱）
・2006年「こおろぎは歌う」	詩：ロル力	訳詩・曲：寺嶋陸也
・2007年「生命」	詩：矢田部誠子	曲：矢田部宏
・2008年「沖縄のスケッチ」		曲：寺嶋陸也（豊中混声との共同委嘱）
・2009年「きこえてくる」（未完）	詩：まど・みちお	曲：萩京子

メンバーからのメッセージ（五十音順）

●浅井詩乃（小2）

わたしは、とよしょうに入ってからまだ4ヶ月です。とよしょうでやってみたら、どんどん上手になるし、たのしくなるので、うれしかったです。一つずつやれば、おぼえていくので、「これでかんぺきだ」とおもうけど、ほんばんすてきなうたになりたいです。わたしは、ちょっとそうそうしてみました。ほんとうに上手にできたら、なめらかなくもの上にいるきもちになるのかなとおもいました。♪

●浅尾愛恵（小5）

私は、今回定演に出るのが初めてです。初めてで緊張しています。私はレコーディングした曲が、好きです。そのなかでも『いつも何度でも』が、好きです。一生懸命がんばって歌います。

●今西梓（高2）

今回の定期演奏会は、私の大大大好きな、萩京子先生の曲をた〜くさん歌います☆ しかも、萩先生の伴奏で歌います!! もう、めっちゃめっちゃ楽しみです。そして「不思議の国から」という曲も歌います。この曲は、いじめを受けたため自殺した子供の思いと、これからの未来への願いを歌った曲です。私はこんなむずかしい曲を、生まれて初めて歌いました。そして、豊少“初”のレコーディングをした曲も歌います(∇) 他にもまだまだいっぱい歌います(〰)Y☆Y(〰) またひとまわり成長した豊少の歌をどうぞお聞き下さいo(〰-〰o)(o〰-〰)o

●植田亮太（小6）

ぼくは定期演奏会に出演するのは初めてです。今回の魅力は「きもちのふかみに」の5曲だと思います。「ふしぎの国から」は覚えるのに苦労しましたが、いじめがなくなるように、という願いをこめて歌いたいです。萩京子さんのソング集には楽しい曲がいっぱいありました。力いっぱい頑張るので聞いて下さい。

●内賀嶋潤（中3）

今回の定期演奏会は「きもちのふかみに」においていこうよ」がテーマです。生きること、思いやること等、人間として大切なことを歌った曲がたくさんあります。この定期演奏会に来てくださったみなさんにもきもちのふかみににおいていてもらい、いろんなことを感じてもらえたらと思います。個人的なことですが、今回は特にクラブとの両立に苦労し、合唱の方が練習不足なのですが、精一杯の気持ちを込めて歌います。どうぞよろしくお願いします(〰)

●内賀嶋仁美（高3）

今回私たちが歌う曲の中に「きもちのふかみに」という曲があります。私は最初、この曲の詩を読んだとき、とても感動し、ハーモニーを聞いて思わずうっとりしました。とても深くて素晴らしい歌を私たちは気持ちを込めて歌い、みなさまを「きもちのふかみ」へお連れしたいと思います。ぜひ歌詞カードをご覧になりながら豊少の歌に耳を傾けてください。そしてこの曲に込められた私たちの思いを受け取ってください!!



●江田果林（中1）

私は、今回で4回目の定演です。今回歌う曲で、特に難しかったのは、「ふしぎの国から」と「きもちのふかみに」です。「ふしぎの国から」は、リズムや音程等がとりにくいです。「きもちのふかみに」の練習には、毎週、豊混の方が何人か来て下さって、うれしかったです。豊少初☆のレコーディングで歌った曲には、皆さんの知っているような曲もあります♪ どの曲も、がんばって練習したので、ぜひ最後までお聴き下さいね(*_*)

●大澤千帆（小3）

わたしは、定期えんそう会は2回目です。今年は去年とはちがうむずかしさがあって、練習もすごくつかれました。今回のえんそう会で歌うなかでわたしが一番好きな曲は、『ひみつ』です。わたしはたのしい曲が好きです。『ひみつ』はふりつけがおもしろいし、歌詞もおもしろいです。わたしは合唱をはじめて二年目だけど、いろいろな曲をしました。これからも、もっといろんな曲をしたいです♪

●大澤菜月（中1）

今回の定期演奏会でわたしが一番好きな曲は、「きもちのふかみに」のなかの曲です。ピアノ伴奏がとてもきれいだし、豊混の男性の方たちと一緒に合唱できるのが、とてもきもちいいからです。初の混声合唱なので、男性の方とのきれいなハーモニーを楽しみながら、演奏会に来てくれた人に、いい歌を届けられるようにがんばります。

●大竹沙結梨（中1）

私は今回の組曲『きもちのふかみに』の中の『さようなら』という曲が好きです。いろんなことと別れていってしまうけど、「また会えたらいいな」と楽しみにしているからです。豊混の男性の方と一緒に、きれいなハーモニーを作りたいです。『ふしぎの国から』では、いろいろな場面を振付で表現しているので、どうぞごらん下さい。

●大谷琴美（中3）

今回の定期演奏会は、萩京子先生の曲をたくさん歌えて、とても嬉しいです。萩先生の曲は、メロディーがすごく素敵で、歌っていると、とってもいい気持ち♪になります。それをお客さんにも感じてもらえるように歌いたいと思います。「ふしぎの国から」は音程も歌詞も難しいですが、意味を考えながら歌いたいと思います。いつもの練習の成果が出せるように、精一杯、歌います。どうぞ最後まで楽しんで、お聴きください。

●小野楓（中2）

私は今回の定期演奏会に出ることはできませんが、今回の曲目を見て、自分の歌ったことがある曲がいろいろあったので一緒に歌いたいです!! 萩京子さんの曲はいい曲ばかりで聞いていると気持ちが晴れる曲がたくさんあります。今回の曲もたぶん聞いている人はいい気持ちになれるんじゃないかなあーと思っているので、みなさん楽しんで聞いて下さい♪ 私もまたいつかみんなと一緒に萩さんの曲を歌える事を楽しみにしています!!

●小野瞳（高2）

私は去年の定演から1度も練習に行けなくて、残念ながら今回の定演には出ることができませんでした(；ω；)
私が初めて豊少の歌を聞いたのは、5年前の定演でした♪
その時客席で歌を聞いて、この合唱団と一緒に歌いたいのと思ったのを覚えています(´O`) / 今日も豊少の歌を聞いたら、そう思う人達がたくさん居ると思います★
今日は 久しぶりに客席で豊少の歌を聞くので、とても楽しみです。
来年はまた、ステージで歌いたいと思います n^ω^ n

●鎌田笑美花（小5）

私は、定期演奏会が2回目だけれども、1回目よりも緊張しています。私がかんばりたい歌は、「水はうたいます」です。この歌は、雨が降っているように歌ったり、雲になっているように歌いたいです。毎週の練習日や合宿で、もう練習してうまくくなりました。がんばって、定期演奏会を成功させたいです。

●河中彩子（高2）

私は豊中少年少女合唱団に入って今年で9年目に入ります。毎年毎年色々な舞台に立たせてもらって、豊少は演奏会を重ねるたびに、どんどん前回よりも良い演奏ができるようになっていきます！ 今回の演奏会も去年よりも良い演奏が出来るように、みんな難しい曲でもがんばって練習してきました。今年はどの曲もメッセージ性があるので、お客さまにそのメッセージを、できるだけ多く伝えられるように一生懸命歌いたいです。

●水津香緒（小5）

私は[きもちのふかみに]が好きです。豊中混声と一緒に歌う歌です。特に[しぬまえにおじいさんのいったこと]は歌っていると自然に涙がでてくるような心に響く歌だから好きです。萩京子ソング集の中の[はじめのことば]は、戦争を子どものことばで綴った歌で、世界中の大人に聞いてほしい歌です。だから、世界のすみずみまで届くように、一生懸命歌いたいです。

●高野瀬凜之介（小2）

「みずはうたいます」が、僕は大好きです。とてもきれいな曲で、いろんな景色を想いながら、いつも歌っています。たくさんの人に聴いてもらいたいです。

●多芸愛理（小5）

豊少に入って4回目の定演です。今回は全部で24曲歌います！最後まで心をこめて精一杯歌いたいです。私たちの歌でみんなが幸せな気持ちになればいいな…

●中井亮（中3）

すっかり声がわりしてアルトがでなくなりました。今回は豊混の男の人にまじって萩京子先生の『きもちのふかみに』でバスにチャレンジしています。なんだか大人の気分です。その中で『しぬまえにおじいさんのいったこと』という歌がとても難しいです。一番好きな歌は『さようなら』で、ハーモニーがとても好きです。ぜひ聴いてください。

●西岡彩音（小6）

今日は、来てくださってありがとうございます。今年は、短い曲をいくつも歌い、さらに一部ふりつけもついているので、覚えるのはたいへんでした。見所は、「きもちのふかみに」です。混声合唱なので、豊中混声合唱団の方々に手伝ってもらいました。すてきな歌詞とすてきな曲で、すてきな歌をつくりだせたと思います。一つ一つの言葉に気持ちをこめて歌います。
ぜひ、最後まで聴いてください！！

●西岡友樹（高1）

豊中少年少女合唱団第7回定期演奏会に来てくださって、ありがとうございます。今年の定期演奏会は、例年になく曲数が多く、練習はとても苦労しました。特に萩京子先生の曲を多く歌っています。その中でも「きもちのふかみに」という曲は、いろいろな気持ちを表した、とてもいい曲です。他にも、素晴らしい曲がたくさんあるので、ぜひ最後まで聴いてください。

●野添円翔（中1）

今年は萩先生の作品がたくさんあります。しかも萩先生がピアノをひいてくださるので、とてもいい演奏になると思います。私は、特に「きもちのふかみに」が好きです。ピアノの伴奏がとてもきれいで、その曲のイメージがよく出ているし、大人とのハーモニーがすごく素敵だからです。いい演奏になるようにがんばります。

●濱口櫻子（小2）

わたしは、ていえんに出るのが3回目です。はじめてのころはただうたっていただけだったけど、いまはみをかながえながらうたえるようになりました。「ふしぎのくにから」ははじめがなくなるようにうたいたいです。「はじめのことば」は1ばんすきなうたです。せんそうがなくなるようにうたいたいです。レコーディングきょくはたのしいきょくがいっぱいなのでたのしくうたいます。「きもちのふかみに」は男声の人たちが、いっしょにうたって下さいます。いっしょにうたうときれいな声になります。

●濱口優香（中2）

私にとって、今回は6回目の定期演奏会になります。「萩京子ソング集」の「ひみづ」はとっても、楽しい曲なので、皆さんに楽しさが伝わればいいと思います(^ ^)♪
「ふしぎの国から」は題名の通り、とっても不思議な曲です。歌詞がとっても難しいです(^ ^;) ふしぎの国の幽霊ちゃんの強い気持ちが伝わればいいと思います！！
他にも楽しい曲がいっぱいあるので、楽しんで聴いていただければ嬉しいです(^U^)/

●林あかね（小5）

わたしが一番好きな曲は「みんなやわらかい」です。本当に四角や丸がいろんな形になっているのがわかります！
会場のお客さまといっしょに楽しめたらうれしいです。これからも合唱をがんばっていきたいです♪

豊少のホームページを見てください～い！・・・・ 私たちのことがよくわかるよ！

<http://homepage1.nifty.com/nishioka/toyo/>

豊中少年少女合唱団

検索



●福井那奈（小4）

私は合唱団に入って6年目になります。結構上手になったと思います。今までいろんな曲を歌ってきました！どの曲も大好きです♪特に体を動かして歌うのが好きです(^ ^) 初めて定演で歌った”遊びのはじまり”もなわとびを使ったりしておもしろかったし、新実徳英作曲”のはらうた”もかわいい歌で好きです♪今年は萩京子先生の”ひみつ”がお気に入りです☆みんな楽しみにしてくださいね～!!!

●福井里歩（中1）

私は、合唱団に入って6年目になります◇◆私が、合唱団に入って、一番最初に歌った歌が、萩京子さんの「ファールさん」でした。その「ファールさん」を合唱祭で歌ったときに、ちょうど、池田ジュニア合唱団が「ひみつ」を歌っていて、私もいつか歌ってみたい！っとずっと思っていました☆(+´▽`´)それが今回！！大好きな、萩京子さんシリーズで、「ひみつ」を歌えて、とっても嬉しいですよ”その他にも、私の大好きな曲がたくさんあります！！全部で、24曲！楽しんで歌います♪ みなさん！どうぞ、お楽しみに

●堀愛乃香（中1）

年初めて定期演奏会に出ます。練習あまり参加できず周りのみんなに迷惑をかけてしまいました。ごめんなさい--- 私はレコーディング曲が大好きです。家族で歌ったり聴いたり元気もらったりしました。私の大好きな歌がみんなに届きますように！本番頑張ります。

●前田萌衣（高1）

高校生になりました☆ 受験でしばらく練習をお休みしていたため、みんなの足をひっぱらないように自主練習をたくさんしました。・・・でもやっぱりみんなと一緒に歌うほうが断然楽しい!! 初めて『きもちのふかみに』を聴いた時、曲の中に吸い込まれていく感じがしました。今日はみなさんにもこの感動をお伝えできるように、精一杯歌います(*^~^*)v

●牧口こころ（中3）

皆さん、第7回定期演奏会へようこそ！
今回もプログラムは盛りだくさんミ★(*. . .)v
初レコーディングの曲はみなさんが耳にしたことのある曲をパフォーマンス。「ふしぎの国から」はメッセージの込められた曲です♪ 「きもちのふかみに」の中には心温まる曲がぎゅっつまってます。「木とともに人とともに」では帰り道に口ずさみますよ笑 今年も豊混の皆さんとともに歌うことができて*HAPPY*
皆さん、豊少の歌声をじっくり！しみじみ！楽しんで！聴いてください☆★

●松崎江吏子（中1）

私にとって初めての定期演奏会なのでみんなと楽しく歌いたいです。間違えないよう頑張ります！

●宮本梨理花（小6）

私は、定期演奏会2回目ですががんばります。今回は、前回とはちがった楽しさがあるのでとても楽しみにしています。難しいところがあるけど一生懸命精一杯がんばっていきたいと思います。

●村田愛子（中1）

今回の定期演奏会は、萩京子先生をお迎えして歌います。「きもちのふかみに」はとてもきれいな曲です。気持ちを込めて、一生懸命歌います♪去年、豊少は初めてレコーディングをしました！！どの曲も、こどもがよく知っている曲ですが、最初はとても難しかったです。でもたくさん練習し、とても上手くなりました。今年から中学生です。忙しくなりますが、頑張って続けていきたいです！！では、最後までお楽しみ下さい♪

●村田咲子（中3）

私は、今回の曲の萩先生の曲と「木とともに人とともに」が大好きです。特に「きもちのふかみに」は凄く綺麗な曲だし、「木とともに人とともに」は、豊混の方と一緒に歌ってたら気持ちがいいです。秋から、練習にほとんど行けない状況になり、今回の定演には出られず、演奏を聴くこともできなくてとても残念です。来年の定演はまたみんなとステージに上がって歌えることを楽しみにしています。今日はみんなを心から応援しています！！

●森万葉（小6）

わたしは、今回歌う曲の中で一番、レコーディング記念の<晴れたらいいね>が大好きです。盛り上がるし、歌って楽しいです。今回は少しだけダンスを踊るところがあって、ドキドキしますが頑張ります。最後までごゆっくり、聞いて下さい！

●矢熊歩（小5）

「きもちのふかみに」の中の「しぬまえにおじいさんのいったこと」が一番好きです。「ふしぎの国から」は、舞台の上で動きます。一生懸命歌いますので、聞いてください。

●矢熊光（中2）

学校のクラブと合唱団の練習時間が重なり、合唱団の練習に参加できない時が多かったので、自分で音を取ったりして、今までで、一番、家で練習しました。好きな曲は、「きもちのふかみに」の中の「あい」と「しぬまえにおじいさんのいったこと」です。最後のステージの中に好きな曲があるので、是非、最後まで聞いて楽しんでください。

新入団員大募集！ 定期演奏会後の今が一番入団に適した時期です！

練習日：毎週土曜日 13時～16時 場所：曾根の中央公民館ほか

連絡先：西岡（0797-88-1890）、牧口（06-6858-0252）

E-mail：toyonakabgc@yahoo.co.jp

見学会のお知らせ！

4月25日(土)13時～見学会を開催します。お気軽に中央公民館 4 階の多目的ホールへきてください。できれば事前に電話をいただくと、準備の都合上、ありがたいです

ソフラ!

内賀島 仁美	高3
小野 瞳	高2
河中 彩子	高2
島 陽子	高1 (休)
村田 咲子	中3
小野 楓	中2
濱口 優香	中2
江田 果林	中1
堀 愛乃香	中1
松崎 江吏子	中1
村田 愛子	中1
植田 亮太	小6
水津 早智	小6 (休)
宮本 梨理花	小6
浅尾 愛恵	小5
鎌田 笑美花	小5
林 あかね	小5
矢熊 歩	小5
浅井 詩乃	小2
高野瀬凜之介	小2
濱口 櫻子	小2
浅野 倭香名	年長 (休)



マドソフラ!

内賀島 潤	中3
大谷 琴美	中3
矢熊 光	中2
大竹 沙結梨	中1
野添 円翔	中1
西岡 彩音	小6
森 万葉	小6
水津 香緒	小5



アルト

今西 梓	高2
西岡 友樹	高1
前田 萌衣	高1
浅野 真利奈	中3 (休)
中井 亮	中3
牧口 こころ	中3
大澤 菜月	中1
福井 里歩	中1
多芸 愛理	小5
福井 那奈	小4
大澤 千帆	小3

(休): 現在、休団中



■ふしぎの国から

詩：藤井貞和

1. あいさつ

死んだ子どもたちの ことばのために
どこからでも あなたをさがす
歌わぬ歌をささげる
ふしぎの国の音にならない音にかりたてられ
今年もまた 来てくれて ありがとう
見送られることなく 死んだ子どもたち

2. ビラブド

ぼくがもしも
難聴でなかったのなら
おかあさんのために
ぼくはもう少し
強い子でいられて
「いじめ」なんかに
負けないで
もしもいられたなら
今日は二十三歳の誕生日です
と言えるのに
おとうさん
あれから十年がたちましたね
ぼくの骨は
首のところで三本
折れたときに
おとがしました
おかあさんは
あのおとを聞いたと言います
市長に
質問がある、と言って
おかあさんは手を挙げたそうです
あとで市長は
側近に
入場者をチェックしなかったのかね
とおこったそうです
あの体育館の更衣室は
すっかり
建て替えられたそうです
障害児を
ふつうの学級へ入れたことが
反省点として
教育委員会では
話題になったそうです
もし生きていたとしても
言えません ぼくは
じょうずには……
ふじいくんのおとうさんは
詩を書くひとです
ぼくにかわって
何かを書いてくれると
あのこと

誓ってくださいました
ふじいくんは
ことし卒業ですか
十年がたつというのに
年間十人と言われる
いじめによる
子供の死者のかずは
どうして減らないままなのですか
氷山の一角ではないのですか

3. ぼくのばあい

魔になってしまったぼくらは、
どこへゆけばいい、
運動場を八周目にはいる、まわっている、
せんとうを切っているように見える、
ぼくのばあい、
ほんとうは三周おくれで、
ぼくのとなりにいるのは遊牧民で、
そのむこうにいるのは、
やはり、ぼくです。みんな、
青い顔色とみどりの手足、
それが約束だったから、
ちいさな石になりました。
さようなら、岩石にしみいる悲しみ、
おかあさんのおおきな背中、

4. すくなびこな神よ

岩石のなかへしみこんでしまった悲しみ、
かえらない子供の神を、
あいする人たちが悲しんでいる、
そらの色をあなたはとりもどせない、
あいする人は清冽な嘆きへ変えるための、
えのぐを買ってきてくれる、
でもね、
どんな言葉も比喻であることをやめながら、
すごく光っていたよ、
きのうの国語の時間に兄さんは、
国はやぶれても山河はほろびない、と言った、
あおい波がおしよせるちいさな箱に、
涙をためる練習はもう終わりにしよう、
けむりはあつまって、
ゆうがたのウサギのように赤い目で、
斜め上から見下ろすことになる、
きょねんのクリスマスからあとになってなぜ、
送る人のかずが急に多いの、すくなびこな神よ、
たてなおしてください、こんなにひしめいて、
みんなでそまつにしてきた国だけど、
見捨てないで、いつまでも。

5. ふしぎの国で

風がよこしてくる遠くからの便り
あの世界から 僕だと わからせないように
知らせたい時には
地面からぬっと霜柱の手になって書くよ
どうしたらいいかわからなくなったら
声になって降りていくから
風には眠い蛇の鱗がある
あの鱗を睡蓮みたいな椅子にして
暖かい弁当箱で咲くのは僕
床が泥炭で汚れ
ストーブは寒さを呼んで
僕は時々、炎の顔を出す
運動場に眼をやると
どんな時でも 僕が車輪になって
誰よりも速く走っているのが きっと見える

6. すくなびこな、二

すくなびこなの神よ
立て直してください
こんなにひしめいて
皆で粗末にしてきた国だけど
見捨てないで
バラバラの体で
大風をちぎって
うがやの柱と
薄い雲母の屋根瓦
はにいろのうんこの壁土を
倉庫から運んで下さい
神の台と村の台とを半分ずつ
固定するためのクギをいっぱい
つなぎとめるための杭をくれ
金の波がやってきて
洗う土は金網でしっかりと防いでくれ
子供神
鉄線でゆわえる垣根の十二階からの
銀の波を監視している梁が倒れないように
今日の日の運慶さんのため 湛慶さんのため
力を貸してやれ
やってくる飛驒の匠のために
炭を吸っては投げる最後のすくなびこな
訴える疲れと悲しみ
小さな体は全部分け与えられて
もう腎臓の半分しか残っていない
志は嬉しいが 帰らなくちゃならん
山河は変わらぬ緑に
海路は銅の波頭
サヤエンドウの船に乘せられる
ごみのすくなびこなは
八重の潮合に行く
浮き沈みしながら

■生きる

詩：谷川俊太郎

生きているということ
いま生きているということ
それはのどがかわくということ
木漏れ日がまぶしいということ
ふっと或るメロディを思い出すこと
くしゃみすること
あなたと手をつなぐこと

生きているということ
いま生きているということ
それはミニスカート
それはプラネタリウム
それはヨハン・シュトラウス
それはピカソ
それはアルプス
すべての美しいものに出会うということ
そして
かくされた悪を注意深くこばむこと

生きているということ
いま生きているということ
泣けるということ
笑えるということ
怒れるということ
自由ということ

生きているということ
いま生きているということ
いま遠くで犬が吠えるということ
いま地球が廻っているということ
いまどこかで産声があがるということ
いまどこかで兵士が傷つくということ
いまぶらんこがゆれているということ
いまいまがすぎてゆくこと

生きているということ
いま生きているということ
鳥がはばたくということ
海がとどろくということ
かたつむりははうということ
人は愛するということ
あなたの手のぬくもり
いのちということ

■木とともに人とともに

谷川俊太郎

木とともに私は歌う
大地から声を吸い上げ
言の葉を光にさらし
大空へ心なげうち
木とともにあなたとともに
私は歌う 緑なす森になるまで
声よ湧け 私のうちに
花々の声 水の声
そよ風の声 いのちの声

人とともに私は歌う
声あげぬ声をもとめて
つぶやきと叫びのはざま
せめぎあう笑いと涙
人とともにあなたとともに
私は歌う・歌声の星座めざして

声よ湧け あなたのうちに
思い出の声 明日の声
物語る声 初めての声

■萩京子ソング集

1. はじめのことば

さねとうあきら

子どもだからといって
戦争は よけてとおらない。
泣こうが わめこうが
だれもたすけてくれない戦争。
かぼそい手足を つっぱらせ
ありったけの チェと勇気を ふりしぼって
子どもたちだって たたかったのだ。
やせこけた ふたつのうででは
とてもささえきれないほどの
平和のおもたさを たしかめた
その日まで……。

2. 水は うたいます

まど・みちお

水は うたいます
川を はしりながら

海になる日の びょうびょうを
海だった日の びょうびょうを

雲になる日の ゆうゆうを
雲だった日の ゆうゆうを

雨になる日の ざんざかを
雨だった日の ざんざかを

虹になる日の やっほーを
虹だった日の やっほーを

雪や氷になる日の こんにちはを
雪や氷だった日の こんにちはを

水は うたいます
川を はしりながら

川であるいまの どんどこを
水である自分の えいえんを

3. 私たちの星

谷川俊太郎

はだしで踏みしめることのできる星
土の星

夜もいいにおいでいっぱい星
花の星

ひとしずくの露がやがて海へと育つ星
水の星

道ばたにクサイチゴがかくれている星
おいしい星

遠くから歌声の聞こえてくる星
風の星

さまざまな言葉が同じ喜びと悲しみを語る星
愛の星

すべてのいのちがいつかともに憩う星
ふるさとの星

数限りない星の中のただひとつの星
私たちの星

4. ひみつ

谷川俊太郎

だれかがなにかをかくしている
だれかはわからないけれど
なにもわからないけれど
それがわかればきつとなにもかもわかる

ぼくはいきをとめてみみをすました
あめがじめんにあたってぴちぴちいつている
あめはきつとなにかをかくしている
それをしらせようとふってくるのに
ぼくにはあめのあんごうがとけない

あしおとをたてないように
そうとあるいてだいどころをのぞくと
おかあさんのうしろすがたがみえた
おかあさんもなにかをかくしている
でもしらんかおしてだいこんおろしている

こんなにひみつをしりたがっているのに
ぼくのころにはあながあいていて
のぞいてもくもったそらしかみえない

1. あい

あい 口で言うのはかんたんだ
愛 文字で書くのもむずかしくない
あい 気持ちはいずれでも知っている
愛 悲しいくらい好きになること
あい いつでもそばにいたいこと
愛 いつまでも生きてほしいと願うこと
あい それは愛ということばじゃない
愛 それは気持ちだけでもない
あい はるかな過去をわすれないこと
愛 見えない未来を信じること
あい くりかえしくりかえし考えること
愛 いのちをかけて生きること

2. みんな やわらかい

しかくは ときどきはずかしくて
くねくねとまるくなる
まるくなるととってもいいきもち
しかくはうとうといねむりする

まっすぐは いつのまにか
しわしわとしをとる
としをとるのもなかなかいいきもち
まっすぐはにこにこだまってる

さんかくやひしがたも
すきなかたちになりたいんだ
みずやかぜみたいのにのびたりちじんだりして
だれかによりそいたいとおもっている

そうしていろはね
いろははなやはっぱやつちやうみといっしょに
かくれんぼやおにごっこをしてあそんで
いろんなおはなしをつくっている

3. しぬまえにおじいさんのいったこと

わたしは かじりかけのりんごをのこして
しんでゆく
いいのこすことは なにもない
よいことは つづくだろうし
わるいことは なくならぬだろうから
わたしには くちずさむうたがあったから
さびかかった かなづちもあったから
いうことなしだ

わたしの いちばんすきなひとに
つたえておくれ
わたしは むかしあなたをすきになって
いまも すきだと
あのよで つむことのできる
いちばんきれいな はなを
あなたに ささげると

4. さようなら

さようなら
きょうたべたさんどいつち
さようなら
きょうあるいたみち
ひがくれてゆく

さようなら
まだおこってるおかあさん
さようなら
もうききおえたうた
もうすぐよるがくる

さようなら
きょうみあげたひこうきぐも
さようなら
きょうころんだわたし
またあえるかしら

5. きもちのふかみに

おとなのはなしをきくのがすきだ
じぶんのぐちにひとのわるくち
だれとだれとがくつついたとか
ぼうえきくろじがどうかこうとか
なにがだいじかよくわからないけど
はなせばらくになるみたいだね

ぼくのはなしもきいてほしいな
おとなみたいにはなせないけど
やなことばかりがいっぱいなんだ
あそぶものにはこまってるけど
きょういきるだけであしたがないよ
どうしてなのかおしえてほしい

きもちのふかみにおりていきたい
そこにはにじもほしもないから
かえってこえはよくきこえるんだ
まっくらなかでじっとしてると
おとなもこどももきっとおんなじ
こわいこともたのしいことも

いつしんだってかまわないんだ
だけどできたらいきていきたい
かみさまなんていないんだから
ともだちだけはほしいとおもう
はなしをきいてくれるともだち
てをにぎっててくれるともだち

きもちのふかみにおりていこうよ
せんせいとおやとぼくときみと
めにはなんにもみえないとしても
きつとなにかがきこえてくるよ
ほんにはけっしてかいてないこと
うたがはじまるまえのしずけさ